

## 『『家族、私有財産及び国家の起源』を探る ブルジョア学者・モルガンに追随したエンゲルス』正誤表

	頁	段落	場所	誤	正
1	7		最初の引用分の3行目	その『古代国家』をほとんど“まる写し”のような形で	その『古代国家』をほとんど“まる写し” <u>する</u> ような形で
2	13	2	2行	資本論の余りも多くの場所	資本論の余りにも多くの場所
3	16	2	1行	「野蛮の低段階」については、 <u>人類は植物的な食糧</u> だけだったと主張し	「野蛮の低段階」については、 <u>人類の食糧は植物</u> だけだったと主張し
5	32	2	2行	ギリシャ・ローマの <u>先行</u> する	ギリシャ・ローマに <u>先行</u> する
6	34	3	1~3行	実際、エンゲルスは、「文明化された」ギリシャ・ローマの歴史の初期にみられる「氏族」は、インディアンにみられる氏族の、より発展した形態であることがわかったと強調し、両者の違いは、 <u>前者が母権社会であるのに後者は父権社会であったと主張している</u>	実際、エンゲルスは、「文明化された」ギリシャ・ローマの歴史の初期にみられる「氏族」は、インディアンにみられる氏族の、より発展した形態であることがわかったと強調し、両者の違いは、 <u>後者が母権社会であるのに前者は父権社会であったと主張している</u>
6	37	3	1行	共同体的関係 <u>に</u> なかに	共同体的関係 <u>の</u> なかに
7	39	2	後6,5行	ダーヴィン主義	ダーウィン主義
8	40	2	2行	何ら <u>か</u> 実証されていない	何ら実証されていない
9	41	3	3行	人類として発展の道に	人類として <u>の</u> 発展の道に
10	43	4	1行	彼自身の子 <u>だけ</u> ではなく	彼自身の子 <u>だけ</u> ではなく
11	44		後2行	呼称と実際の関係と <u>違</u> う	呼称と実際の関係と <u>は</u> 違
12	50		後2行	「血縁関係」を否定するか <u>しない</u> といったこと	「血縁関係」を否定するか <u>しない</u> <u>か</u> といったこと
13	53	1	1~5行	かくしてエンゲルスの“方法”は、モルガンの“方法”(……)が <u>優</u> れている、などと全く言えないのである。	かくしてエンゲルスの“方法”は、モルガンの“方法”(……)より <u>優</u> れている、などと全く言えないのである。
14	55	2	4行	少なくとも	少なくとも
15	55	2	後1行	原理であると言えない	原理である <u>と</u> 言えない
16	55		後5行	問題であるというは強調しておかなくてはならない	問題である <u>という</u> ことは強調しておかなくてはならない
17	63	2	後4行	「積極的な役割を果 <u>す</u> 」場合がある	「積極的な役割を果 <u>た</u> 」場合がある
18	72	2	6行	王権の動揺 <u>その</u> 解体さえももたらす	王権の動揺 <u>を</u> <u>その</u> 解体さえももたらす
19	73	2	後2行	<u>その</u> “古代的生産様式”の発展、 <u>展開</u> の 以前でも以後でもない	<u>それ</u> “古代的生産様式”の発展、 <u>展開</u> 以前でも以後でもない
20	77		後1行	彼が言いたいことは、「個別配偶関係を最高の群居生活」という生活形態	彼が言いたいことは、「個別配偶関係を最高の群居生活 <u>とする</u> 」という生活形態

	頁	段落	場所	誤	正
21	84	1	4行	同じもとしての	同じものとして
23	94	1	後1行	歴史的な分解の結果として、 <u>私有財産は私有財産の形成であり、その関係の発展だからである</u>	歴史的な分解の結果としての <u>私有財産の形成であり、その関係の発展だからである</u>
24	106	1	4行	家畜化が意義もった	家畜化が意義を <u>も</u> った
25	111	1	後1行	断固して	断固と <u>し</u> て
27	112		後3行	住んで <u>し</u> た	住んで <u>い</u> た
28	113	1	3行	大き影響	大きな影響
30	121		後4行	封建的社会的 <u>の</u> について	封建的社会的 <u>に</u> ついて
31	121		後2行	その所有 <u>の</u> について	その所有 <u>に</u> ついて
32	129	1	1行	プロレタリ	プロレタリア
33	133	1	後1行	見てても	見て <u>い</u> ても
34	141	2	後2行	平民”	“平民”
35	151	1	2行	なされなくては <u>ら</u> なかった	なされなくては <u>な</u> らなかった
36	154	1	1行	機関して	機関と <u>し</u> て
37	176	1	4行	言うことできない	言うこと <u>は</u> できない
38	177	2	後3行	ミケーネ社会おける	ミケーネ社会 <u>に</u> おける
39	193	1	6行	とっくの昔 <u>の</u>	とっくの昔 <u>に</u>
40	196	2	後3行	ほとんどそれを“丸写し”のような形で	ほとんどそれを“丸写し” <u>す</u> るような形で
41	210		後5行	何 <u>か</u> らの	何 <u>ら</u> かの
42	213		後2行	三つ国家	三つ <u>の</u> 国家
44	227	2	5行	日本の“安土桃山時代”と徳川封建社会とを、古典期のギリシャ・ローマとヨーロッパ封建社会とを比較する	日本の“安土桃山時代”と徳川封建社会とを、古典期のギリシャ・ローマとヨーロッパ封建社会とを比較する
45	228	2	1行	最後に……不破らが……空論を振りまいている <u>ことである。</u>	最後に……不破らが……空論を振りまいている <u>ことをとりあげる。</u>
46	233	3	後5-4行	“野蛮の時代のゲルマンと、より“文明化”された(?)封建的時代のゲルマンと明確に区別されている	“野蛮の時代のゲルマンと、より“文明化”された(?)封建的時代のゲルマンと <u>が</u> 明確に区別されている
47	236		後4行	社会と <u>し</u> て見なし	社会と見なし